

# 「日本の防衛予算が少ない」と ロシアはどう出てくるのか？

ロシア（ソ連）とアメリカが冷戦を戦っていたころ、日本はロシアの艦隊を宗谷岬よりベーリング海へ出さないように潜水艦で監視していた。そのころに磨かれたのが世界一といわれる日本の潜水艦技術。

それより劣る中国の艦船など物の数ではない。

今回、宗谷岬沖に繰り出してきた28隻の艦船などあつという間の海の藻屑だ。そんなことはプーチン大統領も百も承知。9月10～13日に安倍晋三総理がロシア訪問する前に強がって見せないとロシア国内に格好がつかないのだろう、スパイが大統領の国だ、致し方ない。

しかし、ゴルバチョフ初代大統領は人物だったなあ。日本はあそこで握っておけば相当な国力になっていたはず。実に惜しいことをした。

2018/9/2(日)

防衛省は1日、ロシア軍の哨戒機2機が同日午前から午後にかけて、日本周辺の上空を1周するように飛行したと発表した。

航空自衛隊の戦闘機が緊急発進（スクランブル）したが、領空侵犯はなかった。



防衛省によると、確認されたのはTU142哨戒機2機。

北海道沖から対馬海峡を抜けて沖縄本島と宮古島間を通過した後、太平洋に出て北海道沖まで北上した。

まあ、ロシアの哨戒機は遊覧飛行のつもりで来たのだろうが、自衛隊にスクランブルをかけられてはおちおち景色も見られなかったに違いない。



ロシアの哨戒機TU142

## ロシア海軍28隻が宗谷海峡通過 冷戦後最多、防衛省公表

ロシアは9月2日、「第2次大戦で日本に勝利した」ことを祝う式典を日本の北方領土などで開催し、ついでに軍事活動も強化している。

防衛省は3日、ロシア海軍の艦艇28隻が宗谷海峡をオホーツク海から日本海側に向けて通過したと発表した。一度に宗谷海峡を通過した隻数としては、冷戦終結後、公表ベースで過去最多という。領海侵犯や自衛隊艦艇などへの危険な行為はなかった。

《防衛省によると、1日午後9時半ごろから2日午後4時ごろにかけ、海自の護衛艦などが宗谷岬の北東約210キロの海域を西に進む情報収集艦や駆逐艦、フリゲート艦など28隻を発見。その後、宗谷海峡を西に進むのを確認した。》

防衛省は「目的については確たることが言えないため差し控える」としているが、ロシア国防省が8月28日に「太平



洋艦隊の戦術演習計画に基づき、日本海およびオホーツク海で40隻の戦闘艦艇、ミサイル艇等が活動中である」とホームページで公表していた。宗谷海峡のロシア海軍の通過はこれまで、2012年7月1日から2日にかけて、26隻が今回とは逆に日本海からオホーツク海側に通過したのが冷戦終結後最多だった。

安倍首相は「北方四島について（プーチン大統領と）胸襟を開いて議論したい」と話し、初日の10日にも首脳会談を行いたいとしているが、プーチン大統領が安倍首相に対してどんな対応をするか注目だ。



ロシア新鋭艦、ステレグシチー級フリゲート